

設計内容説明書【RC共同住宅等(住棟用)】

(第一面)

建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容確認欄
		項目	設計内容		
1. 劣化対策等級 (構造躯体等)	セメント	セメントの種類	☐ ポルトランドセメント (JIS R 5210) (☐ 中庸熱 ☐ 低熱 ☐ その他) ☐ フライアッシュセメント (JIS R 5213) ☐ 高炉セメント (JIS R 5211)	☐ 仕様書 ☐	
	コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・ 土に接しない部分 耐力壁以外の壁 床屋内(mm) 屋外(mm) 耐力壁、柱、はり 床屋内(mm) 屋外(mm) ・ 土に接する部分 壁、柱、はり、床、基礎の立ち上がり部分 (mm) ・ 基礎(立ち上がり部分を除く) (mm) ・ 外壁仕上に [☐ タイル貼 ☐ モルタル塗 ☐ 外断熱工法 ☐ その他 ()]	☐ 仕様書 ☐	
		水セメント比	コンクリートの種類 (☐ 普通コンクリート ☐ 軽量コンクリート) ・ 水セメント比 (%)		
	部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	・ 施工誤差 (mm)	☐ 仕様書 ☐	
	コンクリートの品質等	スランブ	(cm)	☐ 仕様書	
		単位水量	(kg/m ³)	☐	
		空気量	(%)		
2. 耐震性 (倒壊等防止)	施工計画	コンクリートの充填方法等	・ 打込・締め固め方法 () ・ 打継ぎ部の処理方法 () ・ 養生方法 ()	☐ 仕様書 ☐	
	構造躯体及び基礎等	構造躯体	・ 構造計算方法 ☐ 限界耐力計算 ☐ 保有水平耐力計算(ルート3) ☐ 許容応力度等計算(ルート2) ☐ 許容応力度計算(ルート1) ☐ その他 ☐ 大臣認定書(基準法)の活用	☐ 構造計算書 ☐ 仕様書 ☐ 構造図 ☐ 矩計図 ☐	
		等級3 等級2			
		限界耐力計算	☐ 各階の安全限界変形の基準に適合		
		保有水平耐力計算 (RC造またはSRC造に限る)	☐ 等級1の基準に適合 ☐ 各階のDSの数値がRC造では0.3、SRC造では0.25であり、かつ極めて稀に発生する地震力による応答変位の当該階高さに対する割合が1/75以下 ☐ 各階のDSの数値がRC造では0.55、SRC造では0.5である		
免震	免震建築物	免震建築物	☐ 免震建築物 ☐ 平成12年建設省告示2009号第1第3号による規程 ・ 同告示第2の該当する号 ☐ 一号(建築基準法20条第1項第四号に掲げる建築物) ☐ 二号(建築基準法20条第1項第二号又は第三号に掲げる建築物) ☐ 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得) ・ 免震層、免震材料の維持に関する計画 ☐ 免震材料等の維持管理に関する計画 ☐ 敷地の管理に関する計画		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容確認欄
		項目	設計内容		
5. 高齢者等対策 (共用部分)	共用廊下	共用廊下の幅員	有効幅員 (mm)	☐ 仕様書 ☐ 平面図 ☐ 矩形図 ☐	
		外部開放廊下の転落防止用手すり	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
	共用階段	勾配等	・ けあげ (mm) ・ 踏面 (mm) ・ 勾配 (/)	☐ 平面図 ☐ 階段詳細図	
		蹴込み	・ 蹴込み寸法 (mm) ・ 蹴込み板 (☐ 無 ☐ 有)		
		形式等	・ 階段の形式 (☐ 踊り場付き折れ階段 ☐ 直階段 ☐ その他) ・ 最上段の通路等への食い込み (☐ 無 ☐ 有) ・ 最下段の通路等への突出 (☐ 無 ☐ 有)		
		滑り防止	・ 滑り止め (☐ 無 ☐ 有、踏面と同一面)		
		段鼻	・ 段鼻の出 (☐ 無 ☐ 有)		
		転落防止用 手すり(外部開放階段)	・ 転落防止措置の床からの高さ (mm) ☐ 手すり壁 ☐ さく ☐ 金網		
		共用階段の幅員	・ 有効幅員 (mm)		
		手すり	☐ 有 ☐ 無		
		エレベーター	エレベーターの利用		
	エレベーターの仕様		・ 出入口の有効幅員 (mm)		
	エレベーターホールの広さ		・ エレベーターホールの寸法 (mm × mm)		
	6. 省エネルギー対策	【一次エネルギー消費量等級】	評価方法	☐ 住棟評価(詳細は第三面にて記載) ☐ 単位住戸評価	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

設計内容説明書【RC共同住宅等(住戸用)】

住戸番号	
建築物の名称	
建築物の所在地	
設計者氏名	
審査員氏名	

認定事項等	確 項 目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容 確認欄
		項 目	設計内容		
3. 可 変 性			・ 躯体天井高さ (mm以上) ☐ 可変性の確保に有効な高さを含める(区分所有住宅以外の住宅に限る)	☐ 矩形図 ☐ ☐	
4. 維持管理 更新の容易性 (専用配管) (ガス管を除く)	専 用 配 管	コンクリート 内 埋 込 配 管	☐ 給水管、排水管及び給湯管のコンクリート内への 埋め込み無し(コンクリートブロックを含む)	☐ 仕上表 ☐ 配置図 ☐ 平面図 ☐ 基礎伏図 ☐ 構造図 ☐ 設備図 ☐ ☐	
		他 住 戸 内 の 専 用 部 内 の 設 置	☐ 給水管、排水管及び給湯管の他住戸専用部内への設置無し ☐ 維持管理に円滑な実施のために必要な措置が講じられている※ (※:区分所有住宅以外の住宅に限る)		
	地 中 埋 設 管	地 中 埋 設 管 上 の コ ン ク リ ー ト 打 設	☐ 排水管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 給水管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 給湯管 (☐ 無 ☐ 有) ☐ 条例等の規定により凍結防止のための配管埋設が定められている地域		
		専 用 排 水 管 清 掃 措 置	・ 便所 [☐ 共用堅管に隣接 ☐ 掃除口 ☐ (露出又は開口有)] ・ その他の水まわり [☐ トラップ ☐ 掃除口 ☐ (露出又は開口有)]		
	排水管の形状 等(継手及び ヘッダーを含 む)	排 水 管 等 の 内 面	☐ 平滑である(仕様等) ☐ その他 ()		
		設 置 状 態	☐ たわみ等が生じないように設置 措置 () ☐ その他 ()		
	配 管 点 検 口	主 要 接 合 部 等 の 点 検 措 置	・ 排水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給水管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給湯管と設備機器の接合部 [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給水管とバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()] ・ 給湯管とバルブ及びヘッダー [(☐ 露出 ☐ 開口有 ☐ その他 ()]		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

設計内容説明書【RC共同住宅等(住戸用)】

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容確認欄
		項目	設計内容		
6. 省エネルギー対策 【断熱等性能等級】 地域の区分 ()	適用する基準	適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算方法 ☐ 誘導仕様基準	☐ 計算書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 立面図 ☐ 矩計図 ☐ 建具表	
	外皮・開口部の断熱性能等	非住宅・住宅計算方法 外皮平均熱貫流率 外皮平均日射熱取得率	☐ 外皮平均熱貫流率(U_A 値)の基準に適合 ☐ 冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値)の基準に適合		
	結露対策	誘導仕様基準 外皮の断熱性能等 開口部の断熱性能等	☐ 外皮の熱貫流率の基準に適合 ☐ 緩和措置有り(外気床(5%緩和)) ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合 ☐ 緩和措置有り(外気床(5%緩和)) ☐ 構造熱橋部の基準に適合(鉄筋コンクリート造等のみ) ☐ 開口部の断熱性能等に関する基準に適合 ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)	☐	
	結露の発生防止対策		☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等を使用する場合) ☐ 設置 () ☐ 省略 () ☐ 通気層の設置(外壁・屋根を断熱構造とする場合) ☐ 屋根 [☐ 有 () ☐ 省略 ()] ・ 防風層の設置 () ☐ 外壁 [☐ 有 () ☐ 省略 ()] ・ 防風層の設置 ()		
【一次エネルギー消費量等級】	適用する基準	適用する基準	☐ 非住宅・住宅計算方法 住棟評価の場合は以下のいずれかを選択 ☐ 住棟評価(単位住戸の合計) ☐ 住棟評価(単位住戸の合計+共用部) ☐ 誘導仕様基準	☐ 仕上表 ☐ 計算書 ☐ 面積表 ☐ 平面図 ☐ 機器表 ☐ 系統図	
	一次エネルギー消費量	非住宅・住宅計算方法 外皮性能値 居室等の面積 一次エネルギー消費量 設備機器等の仕様 誘導仕様基準 暖房設備 冷房設備 換気設備 照明設備 給湯設備	☐ 外皮平均熱貫流率(U_A 値) ☐ 一次エネルギー消費量計算 ・ 冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値) 結果による ・ 暖房期の平均日射熱取得率(η_{AH} 値) ・ 合計の床面積 ☐ 一次エネルギー消費量計算 ・ 主たる居室 結果による ・ その他の居室 ・ 基準一次エネルギー消費量 ☐ 一次エネルギー消費量計算 ・ 設計一次エネルギー消費量 結果による ☐ 一次エネルギー消費量計算結果による ・ 暖房方式 () ・ 暖房機器の仕様等 () ・ 冷房方式 () ・ 冷房機器の仕様等 () ・ 熱交換換気設備の有無 ☐ 有 ☐ 無 ・ 換気機器の仕様等 () ☐ 全ての照明設備がLED又は同等以上 ☐ 給湯熱源機の種類等 () ・ 所定の省エネ対策の実施 ☐ ヘッダー方式 分岐後配管径13A以下 ☐ 浴室シャワーの節湯水栓の使用 ☐ 高断熱浴槽の採用		

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。

設計内容説明書【RC共同住宅等(住戸用)】

認定事項等	確認項目	設計内容説明欄※		記載図書	設計内容 確認欄
		項目	設計内容		
7.住宅の規模	住宅面積	住宅の面積	・住宅の専用面積 (m²) ・40m²以上ある階 (階) (m²) - うち階段部分面積 (m²)	☐ 求積図 ☐	
8.維持保全の方法		維持保全の期間等	・期間 () 年以上 ☐ その他の基準への適合	☐ 申請書 ☐ 維持保全計画書	
9.資金計画		費用の設定	☐ 建築に要する費用の設定 ☐ 維持保全に要する費用の設定	☐ 申請書	
10.居住環境への配慮	まちなみへの配慮	地区計画等への適合	・地区計画等、景観計画、建築協定、景観協定、条例、その他地方公共団体が自主的に定める要綱等がある区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内 該当する地区計画等の名称 () ☐ 適合 ・住宅の建築制限がある都市計画施設等の区域として、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外	☐ 別添	
11.自然災害への配慮		区域等への該当有無	・自然災害のリスクが特に高い区域 ☐ 区域外 ・自然災害のリスクに応じて、建築禁止から建築制限まで、所管行政庁が選定・公表したものの区域 ☐ 区域外 ・一定の自然災害のリスクはあるものの、建築制限はなく一律に居住を避けるべきとまではいえない区域 ☐ 区域外 ☐ 区域内 () ☐ 所管行政庁が定める必要な措置に適合	☐ 別添	

※この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の申請において詳細に設定してください。